

# 就労支援シンポジウムに関するアンケート集計結果

アンケート実施日：平成25年11月24日（日）

シンポジウム「あなたの『働きたい』を応援します」～難病のある方への就労を考える～アンケート集計結果

参加者延べ人数：72名

アンケート回収率：60%

下記の質問に○でお答えください

## 1 あなたは、どういう関係からご参加でしょうか

- ・患者・家族 (41%)
- ・企業関係 (11%)
- ・行政機関 (5%)
- ・就労支援機関 (17%)
- ・教育関係機関 (2%)
- ・医療関係機関 (2%)
- ・一般 (22%)

## 2 あなたの性別、年代について

- ( 男 (31%) 女 (63%) 無回答 (6%) )
- ( ・10代 (3%) ・20代 (11%) ・30代 (23%) ・40代 (23%) ・50代 (20%)  
 ・60代 (9%) ・70代 (9%) ・80代 (3%) )

## 3 このシンポジウムについて、どこでお知りになりましたか

- ・チラシ (6%)
- ・新聞 (0)
- ・知人 (6%)
- ・ホームページ (8%)
- ・案内状 (57%)
- ・その他 (大学の授業、難病センターからの電話、患者会) (17%)
- ・無回答 (3%)

## 4 難病患者の就労について、病気を告知して（明かして）就労することについてどう思われますか。

(複数回答有)

	内 訳					
	全体	患者・家族	企業	行政	就労支援	一般
病気を明かして就労したい、就労してほしい	97%	100%	75%	100%	66%	100%
病気のことは隠して就労したい	3%	0	0	0	17%	0
どちらでもよい	6%	0	25%	0	17%	0
分からない	0	0	0	0	0	0
その他【意見】	・時と場合により明かす、明かさないは決定する ・出来ることは支援したい					

## 5 難病患者の就労について、働くことが可能だと思われますか。

(複数回答有)

	内 訳					
	全体	患者・家族	企業	行政	就労支援	一般
問題なく就労可能と思う。	6%	6%	25%	0	0	0
周囲の理解、勤務時間帯、通院等、何らかの配慮があれば就労可能と思う。	86%	73%	75%	100%	100%	100%
周囲の理解、勤務時間帯、通院等何らかの配慮があっても就労は厳しいと思う。	6%	13%	0	0	0	0
就労することは難しい、困難だと思う。	0	0	0	0	0	0
無回答	6%	6%				
その他意見（必要な配慮等）	個々に違いがあるので一概には言えない					

6 就労を考えた時、また就労継続に迷った時、貴方は誰かに相談をしましたか、相談をしますか。(複数回答有)

	全体	内				訳
		患者・家族	企業	行政	就労支援	一般
I はい	97%					
① 家族	43%	66%	50%	0	0	33%
② 就労支援機関(例えばハローワーク等)	26%	33%	25%	0	17%	22%
③ 主治医	20%	20%	0	0	17%	33%
④ 保健福祉事務所・保健師	3%	0	0	0	17%	0
⑤ 行政機関(県・市)	3%	0	0	0	0	11%
⑥ 難病相談・支援センター	29%	40%	25%	0	17%	22%
⑦ 無回答	6%	0	0	100%	66%	44%
その他意見	友人					
II いいえ	3%					

7 本日の基調講演はいかがでしたか

( 良い (74%) ・普通 (26%) ・どちらでもない (0) ・良くない (0) )

8 本日のシンポジウムはいかがでしたか

( 良い (74%) ・普通 (23%) ・どちらでもない (0) ・良くない (0) ・無回答 (3%) )

9 基調講演・シンポジウムの感想や、ご意見等がありましたらご自由にお書きください。(裏面でも可)

### 参加者からのご意見

- ・初めてこのような講演会に参加をしましたが、よい経験になりました。参加できて良かったです。
- ・日常では知ることの出来ない、聞くことのできない話を聞けてとても良い経験をさせて頂き、ありがとうございました
- ・合理的配慮の基本概念について今一度よく知り、よく考えてみたいと思っております。
- ・色々な事柄、事情等を改めて見直す良い機会となった。
- ・日常の小さな1コマから見つめ直して行きたい。
- ・同じ病気の患者さんに会えた事、嬉しく思いました。
- ・貴重なお話が聞けてよかったです。
- ・今日の話が理想ではなく、現実となるように行動していければと思いました。
- ・患者の生の声が聞けて良かった。
- ・政治家の先生方など、多くの方がご協力して頂いている事、嬉しく思いました。
- ・難病センターに色々相談出来た事がとても良かったと思っています。
- ・今頃、特に職を見つける事が大変な時、経済が良くなっていると言われていたが、健康な若い人も大変な思いをしている時、自分自身のスキルを上げるのも大切かなと思う。
- ・本当は難病や障害があると言わず、就労できるようになる社会であればいいと思ひ。そういうことは抜きにして能力で雇い、その後その人の個性に合わせて配属を考えるように、入ってから病気も障害も個性として考える就労が理想です。
- ・就労、就活時に、能力と難病を上手くプレゼンできる能力を身に付けて面接に望めば、そこも価ってもらえるのではないだろうか。

基調講演・シンポジウムの感想や、ご意見等がありましたらご自由にお書きください。

## 参加者からのご意見

- ・医学的専門分野の支援も含めて、サポートをする必要を感じている。
- ・就労サポート手帳なども作れたらよいかもと思う。
- ・就労支援でのハローワークと支援センターの連携を、支援内容が見えない
- ・質問の時間をもう少し多くしてほしい。
- ・企業側の意見、難病患者さんを雇用しての工夫や困ったこと、良かったこと等、具体的な意見をもっと聞きたかった。
- ・患者さんの心の中、思っている事が聞けて良かった。
- ・患者さん代表のお二人がパソコンのスキルを身に付け、それを役立てて仕事をなさっている事を知り、とてもうれしく、元気を頂きました。
- ・もっと、たくさんの人にシンポジウムに参加して頂きたいと思います。
- ・企業側からの話がとても良かった。より多くの生の声が聞きたいと思った。
- ・企業側の話、とても参考になりました。これからの企業の姿が拝見できて、うれしく思いました。
- ・全ての人に共通することとして「病気を抱えながら生きる」ことについて、じっくり、具体的に考えることが、これまで以上に大切だなと思いました。
- ・今後の国の施策等にも期待しつつ、共に頑張っていきたいと思います。
- ・基調講演は話しそのものが、大変わかりやすい内容で非常に参考になった。
- ・基調講演では現状が把握でき、シンポジウムでは患者の生の声も聞けたこと、その中でどのようなこと、どうすればいいのか話しができて良かったと思います。

ご協力ありがとうございました。